

牛の飼養管理作業中の 事故に気を付けましょう！

搾乳前後や清掃作業中に、牛の予想外の動きによる事故が発生しています。一瞬の不注意が重大な事故につながる可能性があります。

牛の状態に常に気をはらい、予期できない動きにもあわてずに対応できるよう、事前安全確認に努めましょう！

「牛の飼養管理中に発生した事故の主な報告実例」

- ・牛床の敷きわらを直していた際、突然牛が寄ってきて、その弾みでバランスを崩しフオークを右足甲に刺し負傷。
- ・搾乳舎へ牛を移動中、発情中の牛に追いかけて胸付近を頭突きされ打撲。また、搾乳後の牛を移動中、牛と壁の間に挟まれ左肋骨を骨折。
- ・搾乳機をかけようとした際、突然牛が暴れ出し倒れてきたので避けようとしたが、間に合わず体をはさまれ負傷。また、搾乳機を落とした際、牛に右手親指をけられ靭帯損傷。
- ・牛舎で清掃作業中、牛に押され転倒し、右肩を脱臼。
- ・牛舎で除糞作業中、牛同士がケンカをし、牛の後部で作業していたため、牛と鉄パイプに挟まれ左背中肋骨を圧迫され負傷。

家畜の病気に関するお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018